



代表的な疾患のご説明（整形外科）

当院で治療を行っている代表的な疾患を紹介します。

●脳性麻痺

脳性麻痺の患者さんは、体を動かす筋肉の緊張のバランスがうまくとれない状態になっているため運動の発達が遅れたり、体の動きの制限がみられます。この状態が続くと関節・足部・脊椎が固くなったり変形したりするため、さらに動きが悪くなったり姿勢が保てなくなります。当院では下記のような治療を行っています。

運動発達の遅れに対してリハビリテーションを行い、運動能力を伸ばしたり、よりよい動きができるようになることを目指します。

装具を作成して運動をしやすい状態を維持し、変形を予防しています。より症状の重い患者さんには姿勢を維持するための座位保持装置や移動のための車いすを作成しています。



車いすを患者さんの姿勢や状態に合わせて作成します。

筋肉の緊張に対しては緊張を減らし、よりよい動きができるようにするためボトックス（ボツリヌス毒素製剤）の注射を行い、集中リハビリテーションを行っています。



ボトックスの注射の際には全身麻酔をした上でエコーを使って筋肉の位置を確認し、注射を行っています。エコーを使うことにより、ボトックスが筋肉内に入っていることも確認できます。

その後1週～1か月の間に1週間の集中リハビリテーションを行います。

関節の変形や拘縮（固くなること）がみられる場合、腱の延長・切離術・骨の変形に対する骨切り術といった手術を行い、動きを改善したりご家族の介助をしやすくしています。



●先天性股関節脱臼

検診などで股関節が開きづらい・足の長さが異なるといったことで発見されます。当院ではエコーやレントゲンで診断を行い、生後3か月から6か月の患者さんに対しては股関節を開いた状態にする装具（リーメンビューゲル装具）を装着し整復・固定を行っています。生後6か月以上の患者さんは股関節周囲の筋肉のストレッチのための水平牽引をした後、オーバーヘッドトラクション（OHT）法で整復し、整復後はギプスで固定したのちに装具を装着して股関節を安定させます。